

みずほCustomer Desk Report 2024/03/06 号 (As of 2024/03/05)

金融市場部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】				公示仲値	150.43
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	150.45	1.0853	163.25	1.2690	0.6507
SYD-NY High	150.55	1.0876	163.37	1.2735	0.6521
SYD-NY Low	149.70	1.0840	162.66	1.2671	0.6477
NY 5:00 PM	150.05	1.0857	162.87	1.2707	0.6504
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	38,585.19	▲ 404.64	日本2年債	0.1700%	0.0000%
NASDAQ	15,939.59	▲ 267.92	日本10年債	0.7000%	▲0.0100%
S&P	5,078.65	▲ 52.30	米国2年債	4.5600%	▲0.0501%
日経平均	40,097.63	▲ 11.60	米国5年債	4.1466%	▲0.0621%
TOPIX	2,719.93	13.65	米国10年債	4.1496%	▲0.0664%
シカゴ日経先物	39,805.00	▲ 300.00	独10年債	2.3210%	▲0.0755%
ロンドンFT	7,646.16	5.83	英10年債	4.0065%	▲0.1130%
DAX	17,698.40	▲ 17.77	豪10年債	4.1190%	0.0040%
ハンセン指数	16,162.64	▲ 433.33	USDJPY 1M Vol	7.81%	0.20%
上海総合	3,047.79	8.49	USDJPY 3M Vol	7.93%	0.09%
NY金	2,141.90	15.60	USDJPY 6M Vol	8.27%	0.04%
WTI	78.15	▲ 0.59	USDJPY 1M 25RR	▲1.65%	Yen Call Over
CRB指数	275.83	▲ 1.46	EURJPY 3M Vol	7.45%	0.05%
ドルインデックス	103.80	▲ 0.03	EURJPY 6M Vol	7.98%	0.06%

東京	東京時間のドル円は150.45レベルでオープン。オープン前に発表された東京2月CPIで、前回値が上方修正されたものの、おおむね予想通りの結果に大きな反応は出ず。その他に材料のない中、19銭程度の狭いレンジ内での値動きに留まり、150.52レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、150.52レベルでオープン。材料難で小動き。米株先物の上値が重い中、欧州株は若干のリスクオフ。やや円高が進行し、150.38レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は150円台半ばでスタート。2月東京CPIが予想を上回った事や、鈴木財務相の「デフレ脱却宣言を検討している事実はない」との発言が伝わるも、ドル円は反応薄。その後は特段材料が見当たらない中、150.40付近を中心とした動意乏しい推移が続き、150.38レベルでNYオープン。朝方は米金利が低下する動きを受け、150円丁度付近まで下落する軟調な値動きとなる。続いて発表された米2月ISM非製造業景況指数ヘッドラインの予想を下回った結果を受け、ドル売りが強まり、149.70まで続落。その後は売り一巡となり、徐々に買い戻しが入ったことから、150.20近辺まで戻す。午後は米金利が再び低下する動きが重しとなり、149.85まで反落する場面もあったが、終盤に反発し、150.05レベルでクローズ。一方、海外市場のユーロドルは1.08台半ばでスタート。独2月HCOBコンボジットPMI(確報値)が上昇修正されるも、特段大きな反応は見られず、1.0850付近でほぼ横ばいで推移し、1.0847レベルでNYオープン。午前中は先述の弱い米経済指標の結果から、米金利低下を背景に1.0876まで上昇するも、それ以上の上値追いは限定的で、1.0860近辺まで反落。午後は1.0850付近まで値を下げる場面もあったが、その後下げ渋り、1.0857レベルでクローズ。

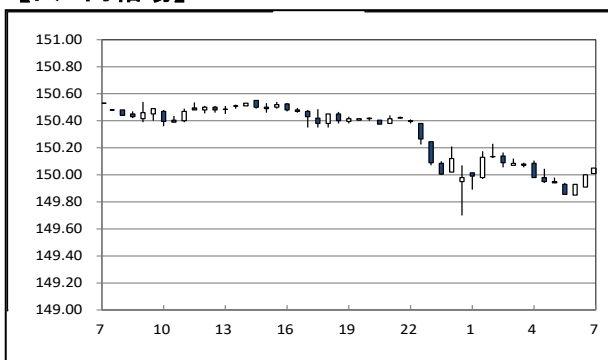
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
3月5日	08:30	日 東京/東京コア/東京コアコアCPI	2月 2.6%/2.5%/3.1%	2.5%/2.5%/3.1%
	10:45	中 Caixin中国PMIサービス業	2月 52.5	52.9
	19:00	欧 PPI(前年比)	1月 -8.6%	-8.1%
3月6日	00:00	米 製造業受注(前月比)	1月 -3.6%	-2.9%
	00:00	米 製造業受注(除輸送)	1月 -0.8%	-0.1%
	00:00	米 耐久財受注(前月比)・確報	1月 -6.2%	-6.1%
	00:00	米 耐久財受注(除輸送用機器)・確報	1月 -0.4%	-0.3%
	00:00	米 ISM非製造業景況指数	2月 52.6	53.0

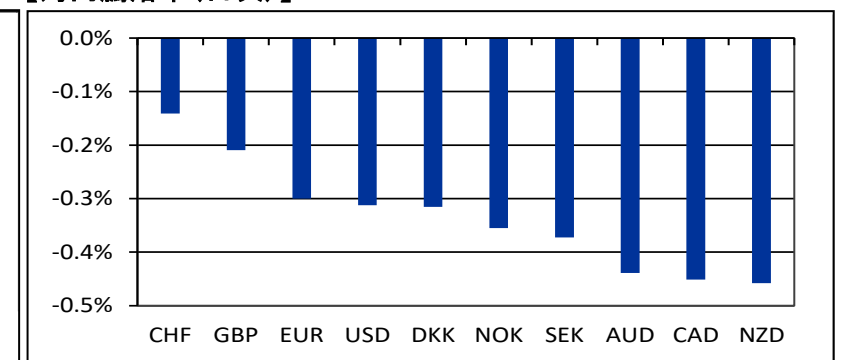
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
3月6日	19:00	欧 小売売上高(前月比)	1月 0.2%	-1.1%
	22:15	米 ADP雇用統計	2月 150k	107k
3月7日	00:00	米 パウエルFRB議長 講演	-	-
	00:00	米 JOLT求人	1月 8850K	9026K
	04:00	米 ベージュブック	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	149.30-150.50	1.0800-1.0900	162.00-163.80

【マーケットインプレッション】

昨日のドル円は下落。東京時間は狭いレンジで推移。海外時間に入り、2月ISM非製造業景況指数の発表後、米金利低下、ドル円下落でマーケットは反応。ドル円は149.70をタッチ。ヘッドラインは市場予想対比やや弱含み、その他仕入れ価格や雇用の項目が弱かったことが材料視されたか。その後は特段の材料もなく、150円近傍でクローズ。

本日は、2月ADP雇用統計や1月JOLT求人、パウエルFRB総裁の講演が予定されている。木曜にECB理事会、週末に雇用統計を控える中メインシナリオは150円を挟んだレンジ推移とみるが、149.30を下抜けた場合に149円割れを目指す展開を見込む向きもあり、急激なボラティリティ上昇には注意したい。なお、トランプ氏の優勢が伝えられる米大統領選スーパーチューズデーの開票が進んでいるが、特段の波乱要因とはならないとみる向きが大勢。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 中山・西